



講師 藤田 尚夫氏

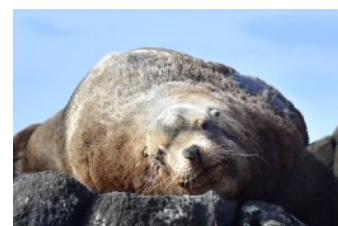
ダイビングショップ・
Zem House オーナー

<生態系の危機 海獣との共存を>

道民カレッジ連携講座として開催した「海浜美化フォーラム2018」はエルプラザ2階に50名ほどが参加し行われました。「きけ！わだつみの声」と題したこの講演は海獣の映像を通して海からの生態系に対するメッセージを京都大学和田一雄名誉教授等との研究を踏まえての講演に参加者は真剣な面持ちで聴講していた。まず、「北海道日本海側に来遊するトドと沿岸漁業・地域共同体との共存を目指して」との研究テーマの経緯・位置づけの説明をし、漁獲高・海獣駆除個体数・漁業被害高等を調査研究した結果、急激な漁獲量の増大から、海獣の食が脅かされ、それが漁業被害につながり、駆除する個体数も増大した。

生態系が壊れてはじめている、と語られました。海獣の映像が終わり、質疑応答では「駆除された個体は海の中でどうなるのか?」との質問があり、「骨まで残さずウニやツブ貝などが食べる」と答えると会場からは「エーッ!」と声上がり、容赦ない自然界の営みに驚いていた。また「海獣を守るには我々は何をしたらよいのか?」との質問に「みんなで声を上げるしかない」とのこと。

休憩をはさみ、宗谷岬でトド駆除の前日に藤田氏がダイビングしてトドの群れを水中から撮影したDVDを映し、また、駆除されたトドの映像もあった。パネリストの福島由華里さんを交えて質疑応答があり、会場から「人間と海獣が共存できるような対策が早急に必要だ」との声があり、参加者は各自問題意識を持って散会した。



海浜美化フォーラムの歴史

2003年より毎年1回、計16回開催。述べ1050人が参加し、環境について学んできました。

第10回(2012.2.18) 50名「漁場環境の保全について」石川清氏、「海、知られざる世界」藤田尚夫氏

第11回(2013.2.23) 45名「森・川・海のつながり一劣化と復元の歴史」中村 太士氏

第12回(2014.2.22) 40名「流木は どんなもの?」齋藤 直人氏

第13回(2015.2.28) 45名「海は広いな大きいな…は今」小林 三樹氏

第14回(2016.2.13) 40名「豊平川あってのまち・札幌」小林 三樹氏

第15回(2017.2.18) 50名「海獣トドを守るという願い」藤田 尚夫氏

